会　議　顛　末

令和元年７月３０日　１８:００ ～ １９:１５
富良野文化会館　第１会議室
出席者　１１名　　・上用委員・金倉委員・山崎委員・井出委員・松田委員・上坂委員
（事務局）北市長・山下市民生活部長・安西課長・大井係長・井上

司会～山下部長
１．開会

２．会長及び副会長選出
役員の改選にあたり、新たに会長・副会長を選出。
特に立候補がなかったことから、事務局案を提示し了承を得た。
会長に上用委員、副会長に金倉委員を選出。

３．報告・協議事項（上用会長が議長となり進行）
（１）第２次富良野市男女共同計画推進計画について
（事務局：大井係長）　計画書については、昨年、庁内策定委員会及び男女共同参画推進委員会にて議論頂きながら策定された計画である。平成 19 年から男女共同参画推進委員会を設置し、平成 21 年に第 1 次男女共同参画推進計画を策定し 10 年間を計画年度として事業の推進を進め、平成 30 年度末に計画年度が終了することから、第 2 次男女共同参画推進計画を策定したところである。計画の推進により、多少は社会の中に男女共同参画という意識が浸透してきたが、未だに性別による男女の役割分担意識や慣行など根強いものがある現状の中で多くの課題があることから取り組みを進めていきたい。
以降、第 2 次富良野市男女共同参画推進計画書を基に、計画内容について説明。

（上用会長）　事務局より説明があったが、何か質問等はあるか。
（上用会長）　この計画を基に富良野市は進め、企業にはどういった働きかけを行うのか。
（事務局：大井係長）　推進項目の中に関係部署について掲載しているが、その部署が中心となってこの計画を基に推進していくよう、周知、啓蒙、普及を図っていく形になる。ただ、民間の企業については強制力もないので、啓蒙、普及という進め方になると思われる。市が率先して目標達成していくなかで、普及を図ることも大事だと思われる。

（上用会長）　「男性らしさ」「女性らしさ」という言葉は使ってはいけないのか。
（事務局：安西課長）　「男性らしさ」「女性らしさ」という考え方やイメージを持つということは、知らず知らずのうちに活動を狭めてしまうことにつながってしまう。固定観念を持たず十分にそれぞれの力を発揮できること、同じ立場で尊重し合えることが大事。
（事務局：山下部長）　特に札幌市が先進的に取り組んでいるが、計画書の中にもある LGBT については人権擁護の部分でも男女ではなく、ひとりの人間であるというように、どんどんなっていくと考えられる。

（２）男女共同参画基本条例について
（事務局：大井係長）　道内の条例策定済み市町村数は、市については 36 市中 13 市、町村については 144 町村中 6 町村である。以降、資料に基づいて説明。
条例の策定については、今回の審議会で結論を出すものではなく、今後、市としても検討し

ていきたいと考えており、委員会でみなさんと話し合いを進めていきたい。

（金倉委員）　条例の策定については、この１年で方向性を出していくということで良いのではないか。

（松田委員）　条例については、資料にある３市でもそれぞれ表現方法があり、教科書の副読本のような形になると思う。先程の「らしさ」の話しの中にもあったが、昔からの固定概念があった。LGBT や同性婚の問題、婚姻後の苗字の選択など時代がそういった流れになっているので、きちっとした条例が富良野市としてある方が良いと思う。なかでも恵庭市の条例は優しい表現に見受けられ、富良野市らしさがあると良いと思う。男女としてというよりも人として認めましょうという流れになっている。

４．その他

（事務局：大井係長）　講演会のテーマについて、何かあれば事務局までお話しいただきたい。